



都市と公園

MESSAGE
メッセージ

感動を探す旅へ



奈良紀子
NARA Noriko

プロフィール

1970年生まれ、千葉県松戸市出身。自称、公園マニア。2005年に趣味で、大人2名と子ども2名が1,000円で楽しめる公園・施設の紹介サイト「1000円もって公園へ行こう!」(<http://1000enpark.com/>)を立ち上げる。アクセスが増えてきたのを機に、2007年に事業として運営していくことを決意。神奈川や東京を中心に、主に関東地方の公園を紹介していたが、2013年、日本全国へ範囲を広げる。現在の掲載公園数は442ヶ所。

あいかわ公園の遊具「ターザンライド」(写真:奈良紀子)

「ねじねじ」「こぎこぎ」「てくてく」。これは、とある遊具に付けられた名前なのですが、どんな遊具だと思いますか？

実は、これらは公園などに設置されている健康遊具に付けられている名前なのです。回転する台に乗り、ハンドルをつかんで腰をねじる「ねじねじ」。ボートを漕ぐ動きをする「こぎこぎ」。左右のステップに足を乗せ、前後に動かす「てくてく」など。どれもシンプルな機能の器具ですが、しっかりと筋肉を使います。ふだん健康遊具を使わない私も、その珍しさとユニークな名前に引き寄せられてしまいました。通常の健康遊具とは違い、遊び感覚で楽しく運動できるなんて、なんて素敵なのでしょう。

また、あいかわ公園（神奈川県愛川町）にある、ターザンロープが進化したような遊具「ターザンライド」も凄いです。子どもを乗せたロープは曲線を描き、左右に大きく揺れて進みます。まるでアトラクションのような迫力がたま

らないようで、いつも大人気の遊具となっています。

ブランコやシーソーなど近所の公園にあるような遊具しか知らなかった私が、これらの遊具に出会った時の感動は、いまだに忘れられません。

「子どものために公園へ行く」と言うときこえは良いですが、私の場合は「自分のため」と言ったほうが正しいかもしれません。子どもたちと遊ぶのに疲れ果て、「公園」に子どもと遊んでもらうために、日々、通っていたように思います。子どもも喜び、自分もストレス解消ができる最適の場所、それが「公園」でした。

近所の公園へは毎日通い、雨が降れば傘をさしてお散歩。週末はいつもと違う公園へ行き、飽きたらまた別の公園へと公園めぐり。そんな生活を続けていくうちに、気が付くと公園へ行くたびにワクワクし、子どもより楽しんでい

る公園めぐりを楽しんでいたある日、「子どもへの愛」のある遊具に出会いました。かわいらしくてユニークなデザイン、そこここにちらばる楽しい遊具たち。子どもたちはもう夢中になって遊んでいます。どうしてこんなに愛情にあふれているのだろう、どうしてこんなに感動するのだろう。これは絶対何かある、と思い調べてみたら、やはりこの遊具はただモノではありませんでした。遊具の企画段階から、公園を利用する方や保育士さん、小学生の意見など約400人の意見を参考にして作られた遊具だったのです。

いろいろな公園をめぐるうちに、だんだんとこのような「公園愛」が見えてくるようになりました。分かりやすいパンフレットや案内板、ちょっとした遊具の貸し出しなど、公園を利用する方がどうすれば過ごしやすいか、どうしたら楽しんでもらえるのか、ということを考えながら管理してくださっているのを感じます。何度でも訪れたいと思える公園は、やはりそういった「愛のある公園」でした。

公園の最大の魅力、それは「お金がかからない」、ということだと私は思います。どんなに楽しくても、どんなに癒されても、お金がかかる場所へはそう頻繁には行けません。そこへいくと公園は無料のところがほとんどです。一人でも大勢でも、子どもから大人まで、思い思いの過ごし方ができる公園。素敵なお弁当なんて作らなくても、お茶とおにぎりさえあればいいんです。楽しくて、一日過ごせて、しかもタダ！ こんな最高の場所は他にはないのではないのでしょうか。

この世には、おもしろい公園がまだたくさんあります。夢は日本全国にある素敵な公園をめぐることに。私の感動を探す旅は、永遠に終わりそうもありません。